

## モニタリング結果報告書

施設 津久井やまゆり園  
 指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会  
 施設所管課 障害サービス課

(平成23年度 上半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B
---

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月10日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
5月	6月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
6月	7月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
7月	8月4日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
8月	9月6日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
9月	10月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

1. 地域生活移行支援事業の実施
2. グループホーム等地域生活移行推進事業の実施
3. 通所体験事業の推進
4. 医療的ケア支援事業の実施
5. 障害者地域余暇活動支援事業の実施
6. 地域交流等支援事業の実施
7. 地域防災ネットワーク事業の実施
8. 地域生活支援関係者研修事業の実施

### <実施状況>

1. 地域移行者に対する外出等余暇支援の充実を図った。また、介護度が高い重度利用者の地域生活を支援するため、休日対応の非常勤職員を1名配置した。
2. グループホームへ入居予定者の候補者等に対して園のゲストハウスを利用した生活体験やグループホームでの体験宿泊を行い地域移行へ向けての適性を見極めるため、6月1名、7月4名、8月1名、の体験宿泊を実施した。
3. 在宅障害者を対象とした生活介護事業への体験受け入れを実施し、1名は10日間、1名は4月から6月までの間で30日間受入れた。
4. 地域の作業所等を訪問し、応急手当普及員と看護師による救命講習研修「すこやかサービス」を6回実施し、77名が受講した。
5. 地域で生活する在宅障害児者を対象とした「ワクワクサークル」を5回実施し、61名が参加した。また、当園近隣に居住する障害児者及びその家族等に創作活動を楽しんでいただくため「わいわい創作活動」を1回実施し、138名が参加した。
6. 「地域コンサート」を3回開催し、543名（市内事業所・近隣住民等）が参加し交流を深めた。
7. 地元消防団からの要請により、職員公舎に住む職員2名を消防団に派遣。また、地元自治会と地域防災ネットワーク構築について検討を進めた。
8. 精神障害や適応障害の支援方法及び成年後見制度について近隣施設・地域作業所等の職員に対して研修会「寺子屋」を3回実施し、101名が参加した。

### 3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支 出 額	収 支 差 額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額	1,312,185	602,867	679,686	29,632	1,312,185	0
今期 (前期)	(1,317,332)	(604,471)	(685,500)	(27,361)	(1,303,264)	(14,068)
上(下)半 期予算額	656,092	301,433	339,843	14,816	656,092	0
4月	99,665	40,609	57,460	1,596	65,426	34,239
5月	99,787	40,609	57,184	1,994	68,718	31,069
6月	158,992	95,798	61,338	1,856	160,493	△1,501
7月	102,945	40,609	60,310	2,026	125,857	△22,912
8月	110,837	40,609	65,824	4,404	76,811	34,026
9月	105,066	40,609	62,577	1,880	88,453	16,613
今年度 半期計	677,292	298,843	364,693	13,756	585,758	91,534
前年度 同期計	672,091	299,641	363,257	9,193	573,498	98,593

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

## 収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

### <意見等>

①③該当なし

②人件費の勘定科目設定を誤り、1次補正により修正したため。また、節電により電気代等を約155万円程度節約出来たため。なお、年度協定における人員配置は満たされている。

### <参考>

本施設について県が支出した(する)修繕費等

⇒該当なし

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が負担することと基本協定で定めている。施設の状態をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期		
総額		

### (今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	マルチリフター設置に係る浴槽改修工事	3,016
	マルチリフター本体	2,782
	車輛(中古2台)	2,024
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	141人	137人	2.9%
5月	142人	138人	2.9%
6月	143人	139人	2.9%
7月	142人	136人	4.4%
8月	142人	139人	2.2%
9月	143人	138人	3.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	900人	853人	827人	△5.2%	3.1%
今年度下半期計	人	人	人	%	%

#### 利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①該当なし

②自立生活可能な障害者が在宅やグループホーム、ケアホームといった地域生活移行に向けた取組を進めており、目標利用者数(定員150人)を割っている状況にある。定員割れについては、短期入所の受入枠を広げ、在宅支援に努めている。

#### 5 苦情・要望等の状況

##### 受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	1(0)	( )	( )	( )	( )	1(0)
5月	1(0)	( )	( )	( )	( )	1(0)
6月	2(0)	( )	( )	( )	( )	2(0)
7月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
8月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
9月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
合計	4(0)	( )	( )	( )	( )	4(0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

⇒該当なし

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

⇒該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

⇒該当なし

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域サービス事業については、記載の通り積極的に地域に対して実施することができた。今後も、地域との連携を保ちながら、更に事業の充実を図りたい。</li><li>・ 在宅の知的障害者等に対して、創作活動や生産活動の機会の提供、地域社会との交流の促進等の便宜を提供することにより、重度障害者等の地域生活支援を図った。</li></ul>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設内での支援の質の高さもさることながら、重度の障害があってもその人らしく地域で暮らす支援に力を入れ、余暇外出の支援や、地域とのよりよい関係作りなど、在宅障害児者の生活を支えている点は県立施設として評価できる。</li><li>・ 今後とも、施設内の支援では障害が重い利用者の生活に危険のないよう、ハード・ソフト両面からの創意工夫や、地域支援では、地域移行に向けた支援、地域生活を継続させられるような支援など、多方面から利用者支援向上に尽力してほしい。</li></ul>